



平成24年11月23日・24日、映画「じんじん」が生まれた町「絵本の里けんぶち」で、これから全国各地での映画上映に協力や応援いただける方々を一堂に会し、「剣淵ツアー」が開催されました。サブロケ地の宮城県松島町長の来町や遠くは九州からの参加者もあり、約250名の方が集まりました。

はじめに、町民センターで佐々木町長の歓迎挨拶の後、全国初の試写会が行われました。約2時間映画を観賞し、時には笑い、時には涙する方も見えられ、「魂の底から感動した」と述べられた方もいました。

上映終了後は、出演者の皆様から舞台挨拶が行われ、山田監督、出演者の大地康雄さん、中井貴恵さん、吉田一幾さんと映画に出てくる絵本の原案者である明川哲也さんに剣淵町の子どもたちから花束が贈呈されました。

次に、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等マスコミ関係者約15社が集まり、

合同記者会見が行われました。その中で映画製作のきっかけ、なぜ剣淵町なのか等が質問されました。

その後、レクサイド桜岡に会場を移し、出演者や参加者全員で大交流会が行われました。撮影された田んぼでとれたもち米を使ったもちつき、ロケ中にも協力をいただいた町内の4団体による剣淵のおふくろの味が登場し、参加者の心を「グツ」っとつかんでいました。

次の日は、絵本の館で「絵本の里づくりとじんじん」をテーマにした座談会が行われました。パネリストに、佐々木町長、大地康雄さん、中井貴恵さん、小池暢子さんをお迎えし、アルパカ牧場の小澤社長をコーディネーターとして、絵本の里けんぶちやじんじんについて意見交換が行われました。大地さんの今回の映画にかける熱い思いや中井さんの絵本に対する熱い情熱が語られ、また、撮影秘話等も話され、会場は盛り上がりました。

剣淵町での上映会は3月中旬の予定です。全国の皆様に見ていただけるように盛り上げていきたいと思います。

地域おこし協力隊通信



↑ 絵本の館にて。小学1年生のみんなの前でわたしのはじめての読み聞かせの様子です。

剣淵町・地域おこし協力隊 高村匠子です。
前号に続いて「地域おこし協力隊通信」を掲載いたします。
今回は、剣淵町で行われた絵本関連のイベントをご紹介します。
『絵本の里けんぶち』らしい素敵な活動です。

ブログ「地域おこし協力隊活動日誌」更新中！
http://vir2.eolas.co.jp/kembuchi_report/



11月23日 ブックトーク&読み聞かせ 母と女性教職員のつどい

子どもたちの幸せを願って様々な運動を行っている「母と女性教職員のつどい」。「おはなし会芽ぶっく」代表の小柳さんを講師に招き《親子で絵本の楽しさを共有しよう》というテーマで、ブックトーク&読み聞かせが開催されました。ブックトークでは、赤ちゃん向けから大人向けまで幅広く絵本を紹介して頂きました。「おはなし会芽ぶっく」のメンバーや、芽ぶっくの子ども版「子芽ぶっく」によるブラックパネルシアターや紙芝居、読み聞かせなど、盛りだくさんのプログラム！とても楽しい時間を過ごせました。



11月25日「第1回紙芝居講座」平成27年「全国紙芝居まつり」に向けて！

平成27年、剣淵町で「全国紙芝居まつり」が開催されます！紙芝居の楽しさを伝え普及することを目的として、剣淵に全国から人が集まってくるのです。3年後の開催に向けて「第1回紙芝居講座」が絵本の館で開かれ、北海道紙芝居研究会「かぜるん」から2人の講師をお招きし、紙芝居の演じ方のポイントを学びました。実際に様々な紙芝居を演じてくださり、紙芝居の魅力を実感しながらの、楽しい講座となりました。わたし、紙芝居は「絵本の延長にあるもの」という認識でしたが、考えがガラッと変わりました。自分も演じて、その魅力を伝えられるようになりたいです！

